



# 岡野恵美

日本共産党三重県議会議員

No.18 秋季号 県議会報告

2016・11・27 岡野恵美事務所

〒514-0016 津市乙部 21-25

Tel/Fax 059-273-5505

メール emi-okano-jcp@wb4.so-net.ne.jp



から、防潮堤のコンクリートひび割れや落ち込みがひどく、早急に改修してほしいと要望が出されていました。この声にどう応えるのか質問をしました。

数年来、賛崎町自治会から、防潮堤のコンクリートひび割れや落ち込みがひどく、早急に改修してほしいと要望が出されました。

## 補修費

### 新堀地区の防潮堤修繕約束 住民の要望に応え 県土整備部長が答弁

う応えるのか質問をしました。

## 憲法

### 知事の立場を問う

憲法に対する知事の姿勢は、これまでに相反する二つの立場が示されています。いつたいどちらなのか？

「知事は憲法について、これまでに改憲と遵守の両方の立場を表明されています。他の修繕箇所についても、30年までに修繕するとの答弁でした。

また、住民に身近なインフラ整備の予算が6、7割も減らされているため、県下各地からの危険箇所修繕の要望に応えられていないのは問題。要望に早急に応えられる予算の増額を求めました。

## 国保の引き下げ

## 憲法

## 補修費増額

# 県民の声・願い最優先に



## 国保

# 引き下げの声に応えるべき

県議会9月定例会議で岡野議員が行つた一般質問をお知らせします。

全国的に、高すぎる国民健康保険料(税)が問題になっています。津市では、今年度から21%もの値上げを行い市民から悲鳴があがっています。

収入の2割近い国保料を払っていたが転職を機に払えなくなつた人。延滞になつた人からの相談も増えています。「国保が、あまりに高すぎるのではないか」と知事の考え方を求めました。津市のモデルケースでは、協会けんぽの二倍にもなっています。

三重県下25の市町で一般会計や基金から約49億円もの繰り入れを行った。保険料をあげない努力をしてきました。県が財政運営を担うこと

になると、繰り入れができなくなる、もつと保険料があがるのではないか心配されます。これに対し、医療対策局長や知事からは、「国保料増加の激変緩和措置が国で用意されている。不安や混乱が生じないように協議を重ね準備をしていきたい」という答弁でしたが、国の財政支援は、少なすぎです。

三重県下25の市町で一般会計や基金から約49億円もの繰り入れを行った。保険料をあげない努力をしてきました。県が財政運営を担うこと

## ★国保へ3つの提言★

- 1、国に国庫負担金の増額を求めること（現在では発足時の半分になります）
- 2、県は、国保財政に一般会計から繰り入れること
- 3、繰り入れや保険料を決めるなどこれまで通り市町村の自主性を守ること

岡野議員は、高すぎる国保料を解決するために、次の三つの提言を行い、知事に実行を求めました。

# 安全性に問題ないか？志登茂川浄化センター



建設中の津市白塚町の中勢流域下水道志登茂川浄化センターは、平成19年、くい打ちデータの改ざんが発覚し、工事が中断。載荷試験後、工事が再開しています。10月21日、豊洲

月一日に協議会を発足していただき、地域の総意として悲願であつたと認識している。国といつしょに連携をとつて議論していきたい。また国に一日でも早い本線（雲出川）しめきりを要望していきたい」と述べました。

津建設事務所の里所長は「ただ、地域の総意として悲願であつたと認識している。国といつしょに連携をとつて議論していきたい。また国に一日でも早い本線（雲出川）しめきりを要望していきたい」と述べました。

# 赤川水害対策を急げ！

赤川と雲出川合流部は、大雨になると大水害になり、対策の早期実現が望まれています。元、三地区の自治会長、松阪市と津市選出の県議会議員とともに津建設事務所長と松阪建設事務所長に要望書を提出して懇談しました。

赤川と雲出川合流部は、大雨になると大水害になり、対策の早期実現が望まれています。元、三地区の自治会長、松阪市と津市選出の県議会議員とともに津建設事務所長と松阪建設事務所長に要望書を提出して懇談しました。